

小牧市では、こどもたちが右記の5つの力を伸ばすことを目指して、児童生徒用タブレットを活用しています。

デジタル社会が進む中、今年度も引き続き校内・家庭でタブレットを学びの道具として活用していきます。

今回は、タブレット活用についてのアンケート結果やタブレットやインターネットを安全に利用するための情報をお伝えします。



小牧市のICT教育が目指す姿

時代を切り拓くこども
～ICTで伸ばすこどもの力～



1. 情報を収集する力
2. 情報を取捨選択し、読み解く力
3. 論理的・創造的に思考する力
4. 課題を発見・解決し、新たな価値を創造する力
5. よりよい社会や人生のあり方について考え、学んだことを生かそうとする力

新1年生の保護者の皆さんへ

- ・新小学1年生は、5月頃から学校から貸し出されたタブレットを使用しますので、**大事に使うようお話しください**。また、家庭にタブレットを持ち帰り、宿題で使用しますので、**充電やインターネット接続のご協力をお願いします**。
- ・新中学1年生は、小学校のときとは異なる機種のタブレットとアカウント（ID・パスワード）を使用します。
- ・すべての学校で、タブレットを適切に使うためのルールが定められていますので、**まずはルールをよくご確認ください**。



タブレットの活用ルール（例）【抜粋】

①基本事項

- ・学校生活に関係のないことで使わない。
- ・タブレットの設定やパスワードを変更しない。

②情報モラル・犯罪被害防止

- ・自分のID・パスワードなどを他人に教えない。
- ・人が写る写真を撮るときは、必ず許可をとる。
- ・自分や他人の個人情報をインターネット上に絶対に書き込まない。

③健康への配慮

- ・明るい場所で、正しい姿勢で使い、目と画面の距離を30センチ以上離す。

④タブレットの持ち帰り

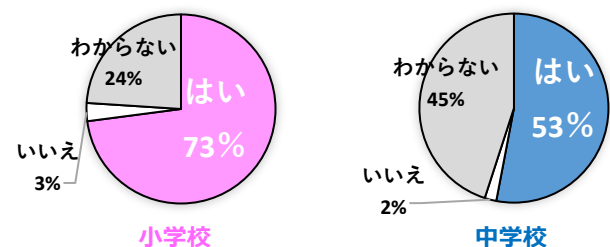
- ・深夜に使用したり、長時間使用したりしない。
- ・充電をして、学校でも使える状態にする。

タブレットを活用することについて、こどもたちが感じていること

こどもたちはタブレットを学習の役に立つ1つの道具として捉えており、日々の授業や家庭学習を通して、効果的に活用していることがわかります。

【出典】：小牧市学校教育ICTパイオニア校事業の推進にかかるアンケート（令和5年12月）

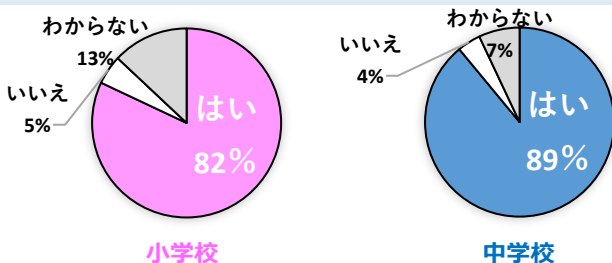
タブレットを使って、クラスの友だちや先生とやりとりすることで、授業がわかりやすいと感じますか？



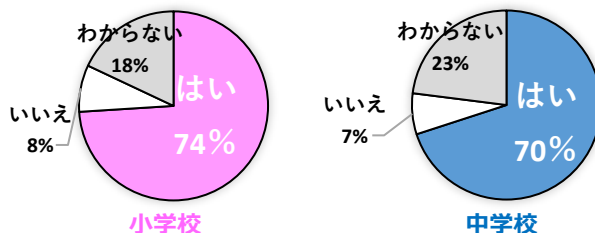
「はい」と回答した主な理由

- ・みんなの意見が一目でわかる
- ・話すだけだと伝わりにくいが、タブレットで図を作ったり、線を引いたりすると説明しやすい
- ・前回の授業と比較した記録がすぐに見られるので、自分の成長したところや伸ばしたいところがよくわかる
- ・文章に書きだして話せるので、理解しやすく、聞き逃しにくい
- ・グループの意見をわかりやすくまとめることができる

タブレットを使って、ほしい（さがしている）情報を集めることができますか？



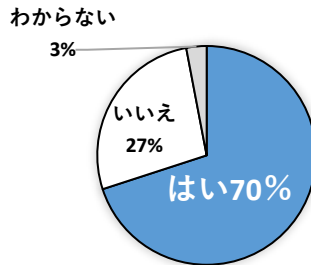
タブレットを使って、自分たちが調べたことを「友だち」や「周りの人」に分かりやすく伝えることができますか？



こどもたちが情報モラルを身につけるためにご協力ください

- これからのデジタル社会においては、こどもが自分で判断してデジタル社会を安全に行動できる力を育成するデジタル・シティズンシップ教育が求められています。
- 保護者の皆様には、ご家庭でお子さんと一緒に「我が家のルール」を決めたり、情報を正しく安全に利用することの大切さについて話し合ったりするなど、ご協力をお願いします。
- 愛知県警のホームページでは、自画撮り被害防止アプリ「コドマモ」や、インターネット・SNSクイズ、親子で見てもらいたいサイト紹介などが掲載されていますので、ぜひご覧ください。

ご家庭で、パソコンやタブレット、スマートフォンの利用時間など、ICT機器を使う上で守るべきルールを決めていますか？



【出典】：小牧市学校教育ICTパイオニア校事業の推進にかかるアンケート（令和5年12月）



▲インターネット・SNSクイズ



▲コドマモの紹介

学校ではどんなふうにタブレットを使っているの？

ICTを活用した授業を紹介します。このほかにも、様々な教科や学習活動でICTを効果的に活用しています。

1. ロボット教材「Root」を使った授業（味岡小 5年生・算数）

プログラミングで正多角形を描くことを通して、正多角形の辺の数、角の大きさなどの性質を学びました。こどもたちは自分たちが考えたプログラムで、ロボットがねらいとした正多角形を描けるのか確かめました。うまくいかない場合にプログラムを修正するなど、グループで話し合いながら取り組みました。



▲プログラムどおりにロボットが動くのか確認

2. 「なぞり書きアプリ」を使った授業（小牧小 特別支援学級、大城小 国際教室）

なぞり書きができるアプリを使って、ひらがな・カタカナ・漢字の書き順を学びました。音声で指示が出たり、正解するとスタンプが表示されたりするため、こどもたちは自分のレベルに合った問題を楽しみながらも繰り返し練習しました。



▲漢字やカタカナの練習をする児童

3. 「Microsoft Reflect」を使った健康観察（光ヶ丘中）

タブレットを使った「心の健康観察」を試行しました。登校後、生徒は今の心の状態を5段階の絵文字から選び、さらに「うれしさ」「退屈」「ストレス」など、今の心情に近い言葉を選んで送信しました。教員からは「生徒が気軽に心の健康を表現しやすい」、「声かけのきっかけになる」、「毎日、確実に確認できるように、回答結果の見やすさも大事である」などの声が聞かれました。



▲自分の心の状態を選択する生徒

4. 「学習者用デジタル教科書」を使った授業（桃陵中 英語）

デジタル教科書を使って、本文の発音を聞いてから繰り返し（リピート）、聞きながらすぐ後を追いかけて発音したり（シャドーイング）しています。音声再生スピードを変えることができるため、自分に合った速度で読むことができます。こどもたちは、個別で聞いて個別で発音することで、自分がわからないところを丁寧に確認しながら、繰り返し練習に取り組んでいました。



▲デジタル教科書で発音を聞く生徒

KOMAKI ICT しんぶんのバックナンバー

過去のICTしんぶんやタブレットに関するQ&Aは小牧市ホームページに掲載しており、いつでもご覧いただけます。（→右記QRコードからもアクセスしていただけます）

